広域観光連携東広島多言語解説整備事業

（西日本広域観光連携文化財活用広島推進協議会）

キーワード

①QRコードを活用した多言語文化財紹介システム
②ＷＥＢマップシステム
③多言語翻訳チャット
など

導入事例

石谷家山陽鶴酒造黒松1号蔵ほか
（国登録有形文化財）

賀茂鶴酒造本社事務所
（国登録有形文化財）

白牡丹酒造延宝蔵南端棟ほか
（国登録有形文化財）

概要、特徴

（文章、画像を用いたフリーフォーマット）

広島県東広島市は本事業により多言語解説整備を行うことで訪日外国人の誘客拡大につなげていくため下記の取り組みを実施。

⑴多言語翻訳システムの導入
⑵先端技術を駆使した多言語看板整備
⑶多言語パンフレット
⑷多言語対応HP作成
⑸翻訳に取り組んだ。
※翻訳は英・中（繁体・簡体）の二か国語

アピールポイント

（文章、画像を用いたフリーフォーマット）

東広島市内の文化財８ヵ所に設置されたQRコードを外国人観光客自身のスマートフォンから読み込むと、自らの母国語で解説文が閲覧できる。より深く知りたいことがあった場合は、多言語翻訳チャットを使って観光客の母国語でお問い合わせが可能。
さらに、16言語の検索エンジンに最適化された「トラベルチャンネル」を搭載したポータルサイトにこれらの情報を集約することで、
世界各国の旅マエ旅行客へのアプローチを実現。

担当者連絡先
社名：西日本広域観光連携文化財活用広島推進協議会
住所：広島県東広島市豊栄町清武３５２７－１
電話：082-432-2215
担当：梶森　久史